



広報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp>

平成16年

5 MAY
月

487



新緑まぶしいはやま湖畔を疾走

— 第14回はやま湖駅伝 —

4月29日、大倉のはやま湖で「第14回スポーツ少年団対抗はやま湖駅伝競走全国大会」が行われました。

今回の大会には、村内外から男女合わせて24チームが参加。晴天の下、はやま湖周回コースを舞台に健脚を競いました。

優勝は、男子が槻木陸上（宮城県柴田町）が4年振り2回目、女子はワラガイRC（相馬市）が2連覇を達成。村内のチームでは、男子の部で飯桶ドリームズAが4位、飯桶アントラズが5位、いいたてJFC(B)が6位と、それぞれ入賞を果たしました。

あつこあつこ
活力あふれる
のたこもろー・ライフ
いいたて

飯樋小学校新校舎で授業スタート



新校舎での授業を心待ちにしていた子どもたち

新学期を迎え、3月に新校舎が完成した飯樋小学校（佐々木茂美校長）でいよいよ注目の学校生活が始まりました。

今年3月に完成した飯樋小学校南校舎は、子どもや地域の声を反映し、子どもの立場から設計された「学校らしくない」「ユニークな造りで話題になっています。

校舎は、子どもの成長に合わせて、学年ごとに違う造りの教室になっていたり、「デン」と呼ばれる隠れ家が3カ所設けられています。

また、多目的スペースには変わった形のテーブルと椅子が並んでいたり、図書室には座ってくつろげるよう掘りごたつが造られるなど、子どもたちの自由な発想によって使われる色々。まさに、「子

どもが主役」の学校です。4月から新しい校舎での学校生活を始めた子どもたちは、木の香りあふれる教室で目を輝かせながら授業を受けていました。

休み時間になると、子どもたちは隠れ家に入っただけでなく、廊下に並んでいる椅子に座って先生や友達と話をしたりと、新しい校舎にすでになじんでいるようです。

同校の先生は、「新しい校舎はきれいで気持ちがいいですね。昨年から常に子どもたちと一緒に過ごしていましたから、休み時間を教室で過ごすことには特に違和感はありません。ただ、死角が多くなってしまいました。でも、使い方しただいだと思えます」と新校舎について話していました。

飯樋小学校では、南校

舎の改築に続き、現在西・北校舎の改修工事も行われており、10月末に竣工の予定です。

子どもの声

- ・スロープがあって使いやすいです。
- ・隠れ家があったりして楽しい学校。けど、掃除が大変。
- ・廊下に椅子・テーブルや畳のスペースがあるので、休み時間に友達と集まって話をしています。
- ・校庭がせまくなってしまい残念。



デン（隠れ家）に入って遊ぶ子どもたち



野外ステージ

校舎の中庭にある、土地の傾斜を利用して造られた野外ステージ。児童たちの発表の場として利用されます。



スロープ

低学年から中学年の教室へ続く廊下は、緩やかなスロープになっています。スロープに沿うように、ランチルームや図書室、コンピュータ室が配置されています。

21世紀にふさわしい学校 飯樋小学校



デン（隠れ家）

校舎内外に造られています。屋外のデンは低学年用で、中には登木があります。



多目的スペース

教室と教室の間に設けられ、学年ごとにそれぞれ形の変わったテーブルや椅子が置かれています。



教室内に設置されたデン（隠れ家）



見学会のようす

入学式前に一般見学会
4月4日、入学式を前に一般見学会が行われ、地元住民など約100人が新しい小学校を見学しました。訪れた人たちは、村教育委員会の職員に校内を案内され、特色のある造りに感心していました。